## 研修 評価

研修 評価	
研修名	医療現場で実践できるコミュニケーション(Ⅱ)新人編
領域	協働する力を高める研修 会場 看護研修センター 受講料 会 員:3,080円
	非会員:6,160円
対象	ラダーレベルⅠ・Ⅱ
	募集数(60人)応募数(49人)参加数(48人)会員数(43人)非会員数(5人)
日時	2023年11月8日(水曜日) 10:00~16:00
ねらい	1. 医療現場でのコミュニケーションの基本を理解し、良好な人間関係づくりに
(目標)	活用できる。
講師	池田優子
内容・方法	○講義内容
	講義:1) コミュニケーションの基本 2) 医療現場のコミュケーションとその持ち方
	3) アサーションの必要性 4)医療従事者とのコミュニケーションの実際
	演習:アサーショントレーニング
	○研修方法・講義・演習
結果・評価	○評価方法:受講後アンケート調査 アンケート回収率 52%
(受講者の意	○受講者の満足度 100%
見感想含む)	○受講者の理解度 100%
	○自己課題の達成度 96%
	・悩みは成長の種という一言がとても心に刺さりました。
	・自分自身のコミュニケーション方法を学ぶことができ、活かしていきたい。
	・受け手に寄るとらえ方の違いが特に印象に残り伝わるための伝え方が重要だと
	思った。
	○目標・内容
	・自分のコミュニケーションを見つめ直すいい機会になったとの意見があり、アンケ
	ートからも整合性 100%であり妥当であったと考える。
企画の評価	○プログラムの妥当性 ・受講者の満足度、理解度 100%であり妥当であったと考える。
	- * 支誦有の個定度、理解度 100% であり安日であるたと考える。 - ○事前準備・当日の運営など
	・グループワークでのテーブル移動はスムーズに行えた。
 課題	・グループワークの際積極的な意見交換ができていなかったように感じた。新人看護
1914/C	師が対象であり、研修慣れがされていない様子であった。
	次回からは新卒2年目以上の看護師が望ましいのではないか。
 担当者	   教育委員